

### (3) PCコンポ橋

PCコンポ橋は、道路橋の省力化・コスト縮減を目指し開発されたPC合成桁構造であり、旧建設省の試験フィールドとして実施工されて以来、現在施工中のものも含め多くの施工実績があるPC橋である。PC桁橋間にプレキャストPC板を配置し、場所打ちコンクリート床版と一体化させたPC合成床版構造とすることにより、従来構造に比べて施工の省力化、工期短縮、品質の向上、安全性、経済性の向上が図れる構造形式である。

PCコンポ橋の特徴は、以下のとおりである。

#### <PCコンポ橋の特徴>

- ① 主桁の製作は工場製作セグメントが標準。
- ② 床版にプレキャストPC板を採用。  
①, ②により品質管理の向上、現場作業の省力化、工期短縮、作業安全性の向上が可能。
- ③ 主桁、横桁の少量化によるコスト縮減。
- ④ PC板と場所打ちコンクリートが一体化した合成構造。合成構造として荷重に抵抗するため、床版部の耐荷力が向上。

#### <PCコンポ橋の構造概要>

適用支間は、25～50mである。

図8.3にPC標準T桁橋とPCコンポ橋の断面形状を示す。

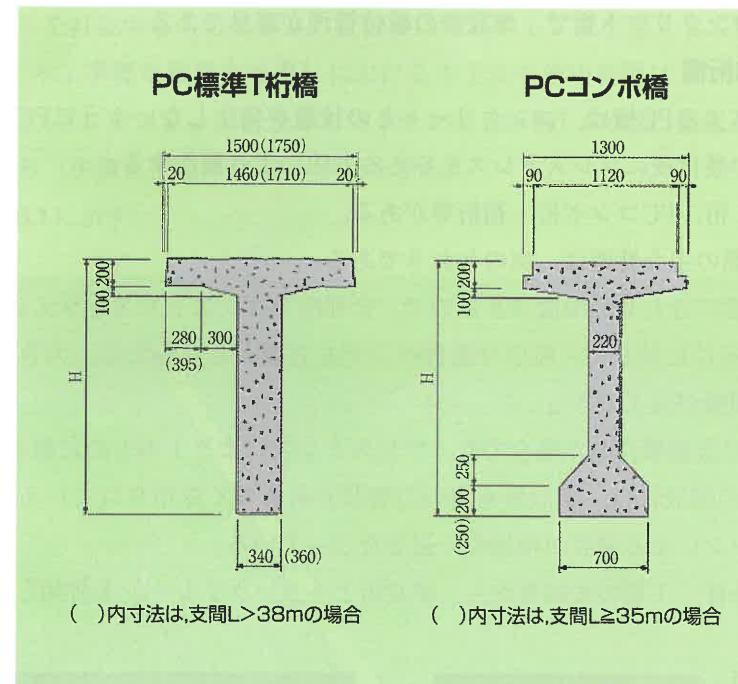


図8.3 PCコンポ橋の主桁と従来方式のT桁橋

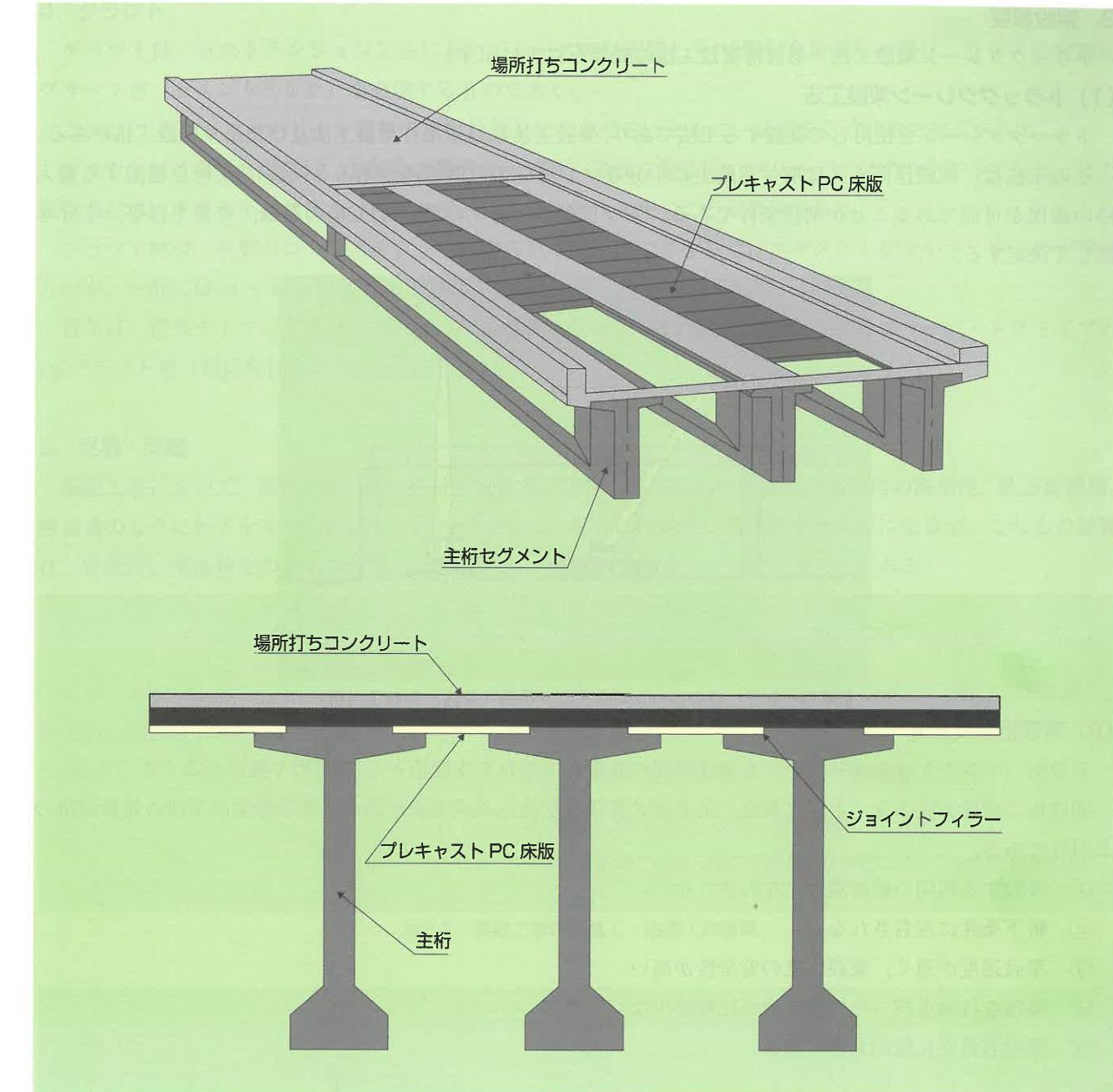


図8.4 PCコンポ橋概念図

# 工事概要書

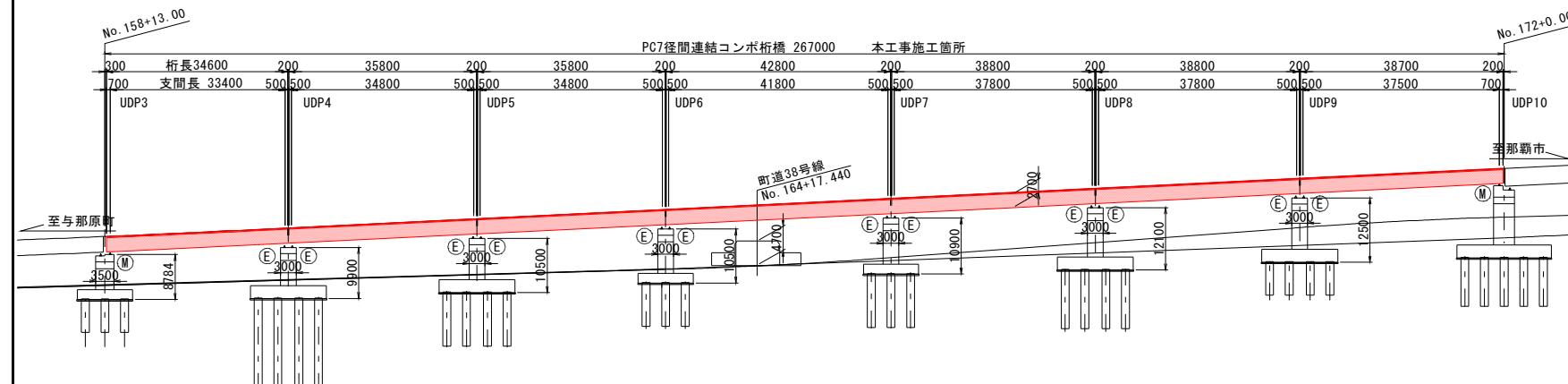
工事名	令和5年度北丘高架橋上部工(UDP3～UDP10)工事		
路線名	一般国道329号 南風原バイパス		
工事場所	沖縄県島尻郡南風原町字宮平地内		
工事期間	自 令和5年11月6日 至 令和8年3月31日 (877日間)		
発注者	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 TEL:098-866-0031 南部国道事務所 TEL:098-861-2336		
受注者	ピーエス・國場組特定建設工事共同企業体 沖縄県島尻郡南風原町字宮平355-2番地 ピーエス・コンストラクション(株) 沖縄営業所 沖縄県那覇市前島二丁目21番13号 沖縄ふそうビル7F 株式会社 國場組 沖縄県那覇市久茂地三丁目21番1号	JV比率 65:35 TEL:098-894-619 TEL:098-862-030 TEL:098-851-519	

施工概要	構造形式：ポストテンション方式PC7径間連結コンポ桁橋(場所打ち桁工法)
	橋長：267.000m
	幅員：全幅 16.300m(道路中心法線上)、有効幅員 上り線 7.145m, 下り線 7.145m
	桁長：34.609m+2@35.810m+42.808m+2@38.810m+38.710m(桁軸線上)
	支間：33.409m+2@34.810m+41.808m+2@37.810m+37.510m(桁軸線上)
	設計荷重：B活荷重、平面線形:A=280m～R=450m、縦断勾配 5%
	架設方法：架設桁架設工法、 縦断勾配 5%、主桁横断勾配 2.1%～4.5%

【コンクリート橋上部】

- 工場製作工
- 検査路製作工
- 工場製品輸送工
- PC橋工
  - ポストテンション桁製作工, 架設工(架設桁架設)
  - 床版・横組工, 現場塗装工, PCコンポ橋床版工
  - 支承工
- 橋梁付属物工
  - 伸縮装置工, 排水装置工, 橋面防水工, 地覆工
  - 橋梁用防護柵工, 検査路工, 銘板工
- コンクリート橋足場等設置工

## 側面図



起 点 側 よ り

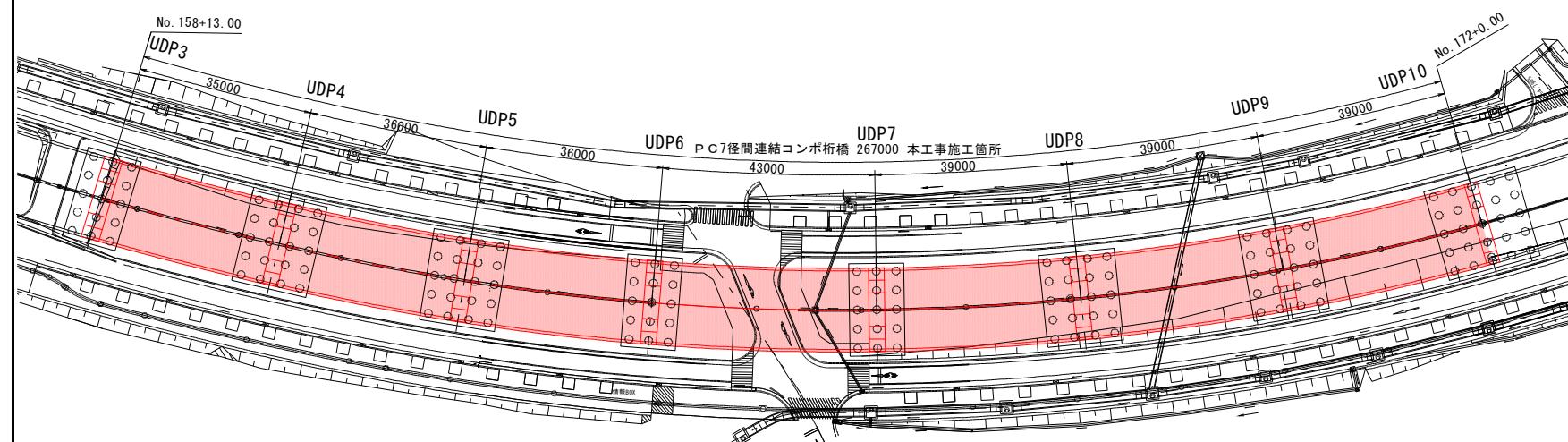


終 点 側 より



撮影:R7年8月時点

平面圖



断面図

